

ひかりのこ

6月園便り

認定こども園
聖ミエル幼稚園
2021年6月7日

月主題：やってみよう

この園日より5月中にお渡しするものでしたが、コロナウィルス緊急事態宣言により、通常の保育ができなかったため6月にお渡しすることになってしまいました。ご家庭の皆様においては、今現在も様々なご協力をいただいております、感謝申し上げます。

1年で収束するのではないかと淡い期待を抱いていた昨今の今頃。収束するどころか、北海道が全国で一番新規感染者が多くなる事態となり、不安を抱えている皆様も多いと思います。

聖ミカエル幼稚園としては、できうことはすべて行い、あとは神さまにゆだねるのみです。

新たに導入した対策としては、食事時の飛沫感染防止のために、座席を離すだけでなく、パーテーションを購入したこと、職員は子どもたちと一緒に食事をとらないようにする、もしくは、パーテーションを使うようにする、ということです。

先生たちは、早く子どもたちの保育がしたくて、準備をしながらその日を待ちわびています。これからも不安は続きますが、ご不安な方は保護者のご判断でお休みをさせていただいて構いません。また、お困りになっていること、お子さんの様子など、お電話やライン等でお伝えください。

園長 渡部 良子



キリスト教保育

「困難を乗り越える勇気と知恵」

初めまして、チャプレン補の上平 更(うえひら こう)です。普段は厚別区にある新札幌聖ニコラス教会という別の教会で働いております。月曜日の朝の礼拝や色々な行事の中で園児のみんなと会えることを楽しみにしていましたが、コロナの様子収まるまではそうもいかないようです。1日も早くこのような状況が収束する日がくるように毎日祈っています。

私たちの世界は、感染症に限らず、様々な出来事によってそれまでとまったく違う生活を強いられることがあります。私が2001年にアメリカに留学した二週間後に9.11の同時多発テロが起きました。その直後に、在米の留学生たちへの取り調べが始まろうとしていました。私はまだ英語もまともに話せず不安でいっぱいでした。しかし、大学や他の学生たちはそのような理不尽な検査に抗議し、私たち留学生が不当に扱われることのないように対応してくれました。

このような困難な時に大切なのは、他人に起きていることを自分のことのように想像できる力ではないでしょうか。その人のことを知っているかどうかではなく、目の前の困っている人のために、「一緒に乗り越えよう!」と考えられる思いやりの心が求められているように感じます。共に困難を乗り越える勇気と知恵を神様が与えてくださいますように。

チャプレン補 司祭 上平 更

